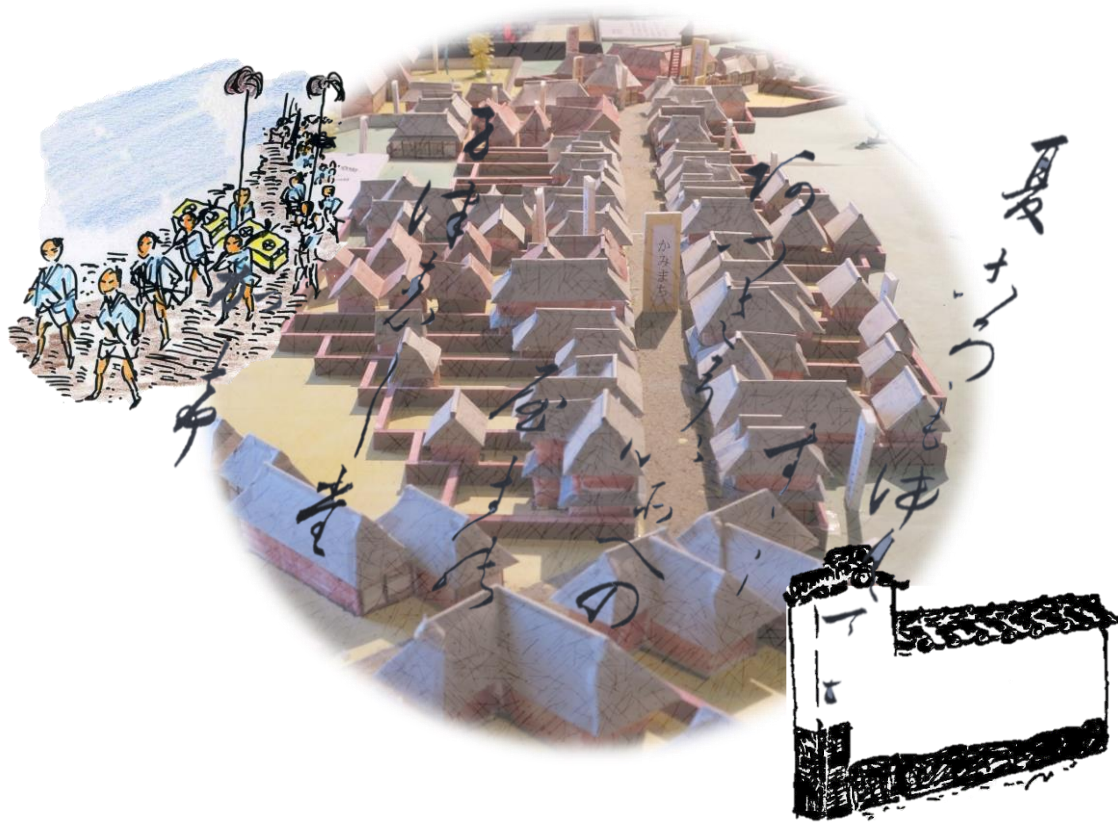


歴史資料館 報告書

Historical Museum Report



テーマ：青柳宿

古賀市立歴史資料館

～ 平成30年度事業 ～

目 次

1. 歴史資料館の活動目標	-----	2
2. 歴史資料館の利用案内	-----	3
3. 平成 30 年度事業報告及び平成 31 年度（令和元年度）事業計画	--	4
4. 歴史資料館利用状況	-----	9
5. 平成 30 年度資料館事業内容	-----	10

1. 歴史資料館の活動目標

歴史資料館の運営方針

- (1) 古賀の歴史がわかる重要な資料・遺物は常設展示とし、分かりやすい展示に努める。
- (2) 企画展、自然史・歴史講座などを開催し、市民の自然・歴史に対する理解や関心を深める。
- (3) 日常的に情報を発信するとともに、展示ケースを使用した小規模展示などで、市民に積極的に利用される資料館づくりを行う。
- (4) 考古、歴史、民俗、博物学など幅広い展示を行い、市民に学習機会の提供を行う。

平成31年度（令和元年度）の目標

- (1) 郷土古賀の歴史を学習する自然史・歴史講座を年6講座（市民対象：5講座・子ども対象：1講座）開催し、講演会、施設見学、体験学習及び史跡等に出向いての現地学習などを行い、参加者の自然史・歴史への興味を高めるとともに、郷土古賀のよさを知ってもらう機会とする。
- (2) 小学生を対象に「子ども考古学部」を年4回実施し、古代の体験や文化財係職員の話を通じて、大昔の人々の生活を学ぶことができるようにする。
- (3) 国史跡船原古墳に関しては、古賀市ホームページやフェイスブック、最新情報のパネル展などを実施し、市内外への情報発信に努める。
- (4) 古文書、民具、昔の写真など郷土に関わる資料の収集を行うとともに、地域の高齢者から昔の生活の様子などの聞き取りを行い、それらの整理・保存に努める。
- (5) れきしのアルバム No43「私年号『亀光』銘墓碑」のデータを作成しホームページに掲載。（今年度分からダウンロードにて対応）

2. 歴史資料館の利用案内

市民の教育、学術及び文化の発展を支援するため、文化的価値を有するさまざまな資料を展示するとともに、見学者の質問に応じている。

開館時間	火曜日～日曜日 午前10時～午後6時（入館17:30まで）	
休館日	・毎週月曜日〔月曜日が祝日の場合は翌平日〕 ・原則として月の第4木曜日（資料整理日）・年末年始（12月28日～1月4日） ・特別整理期間 ・企画展の前後は資料入れ替えのため臨時休館	
入館料	無料	
展 示	展 示 室	縮尺5000分の1の古賀市全体の地形模型とバックモニターで古賀市の史跡・文化財・民話などを紹介
		主に市内で出土した考古遺物、民俗資料などを展示
		可動式ショーケースなどを使い、テーマを定めたスポット展示（1～2ヶ月程度）を実施
		市内の史跡・文化財などを収録したDVDを閲覧できるコーナー設置
		縮尺5分の1の「船原古墳遺物埋納坑遺物出土状況模型」（レプリカ）を展示・九州歴史資料館の船原古墳最新情報パネル展を年1回実施
		古賀郷土かるた・歴史パズル・昔の道具と今の道具・歴史クイズなど、来館者が体験できるコーナー設置、春夏秋冬期の学校長期休暇時に「れきし体験パスポート」を実施
	ギャラリー	年1回歴史資料館事業の企画展を開催
講 座	古賀市内や周辺の自然と歴史を学び郷土古賀を再認識できるよう、講座（講演会・現地学習・体験学習など）を開催	
その他	見学者（学校や団体など）に対する館内展示資料の説明や、プロジェクターなどを用いてのミニ講座の開催（要事前申請）、展示資料パンフレットなどの資料提供	

歴史資料館展示例 《歴史資料館事業の紹介（歴史資料館だより）》



歴史資料館入口にイベント内容のパネルを随時掲示して、事業のPRをしている。

3. 平成 30 年度事業報告及び平成 31 年度（令和元年度）事業計画

（１）平成 30 年度事業報告

《自然史・歴史講座、企画展》

事業名・講師等		開催日	参加者数	内 容 〔開催場所〕
第 1 回自然史・歴史講座【講演】 第 1 部「船原古墳最新情報 2018 今明かされる豪華馬具の高度な技術力」 講師：小林啓氏（九州歴史資料館学芸員） 第 2 部「古代馬の模型作成について」 講師：甲斐孝司（古賀市文化財係職員）		5 月 13 日（日）	41 人	・ 船原古墳出土馬具の最新情報（鉄くぎ、轡、杏葉等） ・ 古代馬の模型作成について 〔歴史資料館 中会議室・展示室〕
第 2 回自然史・歴史講座【講演】 「幕末の古賀～青柳宿を往来した人々～」講師：守友隆氏 （北九州市立自然史・歴史博物館学芸員）		8 月 18 日（土）	52 人	幕末の唐津街道と古賀の宿場町「青柳宿」の当時の様子等を講演 〔歴史資料館 中会議室〕
第 3 回自然史・歴史講座【体験型学習】「船原古墳と馬具のヒミツ」		8 月 23 日（木） 8 月 24 日（金） 24 日は午前午後	小学生 22 人 （保護者 8 人） （未就学 1 人）	船原古墳と出土遺物の解説・「鳳凰文心葉形杏葉」の石膏作り・色付け 〔歴史資料館 中会議室〕
第 4 回自然史・歴史講座【現地学習】 「維新の前哨地 太宰府で学ぶ」		10 月 25 日（木）	36 人	九州国立博物館バックヤードツアー、常設展見学、太宰府天満宮宝物殿「幕末展」を見学し、幕末の歴史を学ぶ〔太宰府市〕
第 5 回自然史・歴史講座【現地学習】 「街中に残る唐津街道を訪ねる～青柳宿から福岡まで～」		3 月 5 日（火）	37 人	唐津街道の宿場町「青柳宿」「箱崎宿」福岡（天神・中洲）の街中に残る唐津街道を辿る現地学習（ガイド付） 〔青柳宿 箱崎宿 福岡市天神地区〕
自然史・歴史講座 合計			188 人	
ミニ企画展	展示「幕末の古賀～青柳宿を通った人々～」	7 月 20 日（金） ～ 8 月 22 日（水）	947 人	古賀の宿場町青柳宿の町茶屋に残された宿泊者名が記された「宿札」（古賀市指定文化財）を中心に「唐津街道青柳宿」を行き交った人々を紹介
パネル展示 船原古墳最新情報	歴史資料館内展示	7 月 4 日（水）～ 12 月 27 日（木）		
	出張ミニ展示	市役所 2F ロビー 7 月 11 日（水）～ 7 月 23 日（月） 遠賀信用金庫ギャラリー「ふれあい」7 月 26 日（木）～ 8 月 7 日（火） アクロス福岡「ホワイエ」10 月 15 日（月）～ 10 月 21 日（日）		
合 計			1,135 人	

※船原古墳最新情報速報展（平成 30 年度までの出土品整理の成果発表）は平成 31 年度（令和元年度）に開催。

《資料館展示》

資料館展示室 の展示	歴史資料館展示室の展示資料（主に昔の農機具）の入替えや配置換えを行った。特に小学3年生の「古い道具と昔の暮らし」の学習において、昔の米作りの流れがより理解しやすいレイアウトとなった。
---------------	---

《その他 小・中学生対象事業》

事業名	期 間	参加人数 (延べ)	内 容
夏休み 歴史資料館れきし体験パスポート	7月20日（金） ～8月26日 （日）	541人	小中学生を対象とした体験型学習。古賀の郷土歴史に理解を
冬休み 歴史資料館れきし体験パスポート	12月21日（金） ～1月14日 （月）	88人	深め、楽しく学習できるように工夫している。
春休み 歴史資料館れきし体験パスポート	3月22日（金） ～4月7日（日）	140人	・昔の遊びコーナー ・歴史クイズ
れきし体験パスポート合計		769人	・歴史パズル 他
第1回 子ども考古学部	10月20日（土）	19人	考古学とは何だろう？
第2回 子ども考古学部	11月24日（土）	18人	縄文土器を作ろう
第3回 子ども考古学部	12月15日（土）	16人	古賀の遺跡を探索しよう
第4回 子ども考古学部	1月19日（土）	19人	古代食を作ろう
子ども考古学部合計		72人	
ナイトミュージアム& ライブラリー	2月2日（土）	50人	歴史資料館、図書館を探検

《通年の活動》

○広報業務

- ・平成 30 年 4 月から平成 31 年 3 月まで「広報こが」等に歴史資料館展示室の展示内容や企画展、自然史・歴史講座のお知らせなどを掲載した。
- ・自然史・歴史講座の講演会及び企画展については、チラシ配布や市内公共施設などにポスターを掲示した。またホームページやフェイスブック、記者懇談会への情報提供などによる周知を図った。
- ・子どもに関する事業は、歴史資料館の来館者への案内や、市内校長会にて別途案内を行うとともに、学校を通じて対象の子どもたちにチラシを配布した。また事業終了後には歴史資料館に事業の様子をパネルにて展示、またフェイスブックで紹介を行った。
- ・船原古墳最新情報パネルについては歴史資料館内、他市内 2 か所、福岡市中央区の「アクロス福岡」にて展示し、市外の方へ情報発信を行った。

○教育普及業務

児童・生徒の教科学習や就業体験、一般団体の見学を受入れた。

小学校教科学習・見学受入れ	9 校	市内の小学校 7 校〔内 2 校は二つの学年〕
中学校見学受入れ	1 校	施設見学
一般団体見学	2 団体	資料館見学
中学生ドリームステージ受入れ	1 校	中学生の職場体験 4 人
高校生インターンシップ受入れ	1 校	高校生の職場体験 2 人

計 1,277 人受入れ(見学)

○刊行物

- ・れきしのアルバム№42「養徳山」新版 500 部

※来年度からデータのみ（ホームページ掲載）

○所蔵資料整理業務

- ・「福岡県筑前國糟屋郡地区地図」のうち青柳地区の古地図について、後世継承のためデジタル化を行った。

○資料収集整理活動

平成 30 年度の寄贈は 4 件（全 36 点）

- ・琵琶
- ・書籍「重要文化財」
- ・書籍「写真週報」
- ・刀 「銘：肥前國佐賀住正廣」



このほか昔から地域で行われてきた祭や行事、産業、生活の様子など古賀の歴史に関する事項について、その地域の高齢者などに話を聞いて、記録に残した。

(2) 平成 31 年度 (令和元年度) 事業計画

《自然史歴史講座・企画展・資料館展示》

事業名・講師等		開催予定日	内 容 (仮題)	場所 (予定)
第 1 回自然史・歴史講座 【講演・VR 体験】 講師：村上浩明氏 (株式会社とっぺん常務取締役兼事業推進部部长学芸員 S X F 技術者)		5 月 18 日 (土)	第 1 部 (一般対象) 「船原×IT～発掘現場を共有する時代～」 第 2 部 (小野小学校 6 年生対象) 「船原古墳を VR で体験してみよう！」	(第 1 部) ・歴史資料館中会議室 (第 2 部) ・船原古墳 ・歴史資料館中会議室
第 2 回自然史・歴史講座【現地学習】		6 月 29 日 (土)	「九州大学総合研究博物館で学ぶ」	九州大学総合研究博物館
第 3 回自然史・歴史講座 【体験学習】 [全 4 回]		7 月 25 日 (木) 7 月 26 日 (金) 杏葉：10:00～12:00 勾玉：14:00～16:00	「夏休み子ども歴史講座」 対象：小・中学生 (1 回 10 人程度) (午前) 船原古墳についての説明及び 船原古墳出土杏葉模型作成 (午後) 勾玉づくり	歴史資料館 中会議室
第 4 回自然史・歴史講座 【講演】講師：須永 敬氏 (九州産業大学国際文化学部日本文学学科教授)		8 月 3 日 (土) 14:00～16:00	古賀の神社と糟屋地区に残る神功皇后伝説について (仮)	歴史資料館 中会議室
子ども考古学部 第 1 回 第 2 回 第 3 回 第 4 回		10 月 5 日 (土) 11 月 9 日 (土) 12 月 7 日 (土) 1 月 18 日 (土)	「古代人の生活を体験しよう (仮)」 対象：小学生 (15 人程度) ※全回同じメンバーによる活動	歴史資料館 中会議室 他
第 5 回自然史・歴史講座 【現地学習】八女市他		10 月 26 日 (土)	「筑紫の英雄磐井のふるさとを訪ねる (仮)」	岩戸山歴史文化交流館いわいの郷、岩戸山古墳他
第 6 回自然史・歴史講座 【現地学習】朝倉市他		3 月 7 日 (土)	「アフガンに生きる江戸時代の技術 (仮)」	山田井堰 他
企 画 展		7 月 20 日 (土) ～ 8 月 31 日 (土)	「神々の系譜～古賀の神社に祀られる産土の神々～」	歴史資料館 ギャラリー
船原古墳最新情報	2019 年度速報展 馬具のビフォー・アフター	4 月 26 日 (金) ～ 6 月 26 日 (水)	平成 30 年度までに実施した調査成果、特に出土品の整理 (クリーニング) 作業の成果を一般公開。作業前後の遺物の変化に焦点をあてた展示内容	歴史資料館 展示室
	歴史資料館内 パネル展示	7 月 3 日 (水) ～	九州歴史資料館との調査・成果などに関する最新情報などのパネル展示	歴史資料館 展示室
	出張 ミニパネル展示	未定	九州歴史資料館との調査・成果などに関する最新情報などのパネル展示を資料館他施設で行い市内外へ情報発信	市役所ロビー アクロス福岡 他

《通年の活動》

○広報業務

- ・広報紙などに歴史資料館展示室の展示内容や企画展、自然史・歴史講座のお知らせなどを掲載する。
- ・自然史・歴史講座の講演会及び企画展については、市内公共施設などにポスター掲示、チラシ配布を行い、ホームページやフェイスブックによる周知を図る。
- ・子どもに関する事業は、市内校長会にて別途案内を行う。また子ども一人ひとりに情報がいきわたるようにチラシを配布する。
- ・船原古墳について最新情報パネルを市内外に展示し、広く情報発信する。

○職員研修

- ・近隣の歴史資料館などを視察見学し、県主催研修等に参加する。

○教育普及業務

児童・生徒の教科学習や就業体験、一般団体見学などの受入を行う。

- ・小・中学校の社会科・総合的な学習や一般団体の見学受入れ
- ・市内中学校の職業体験「ドリームステージ」受入れ
- ・高等学校の就業体験「インターンシップ」受入れ
- ・大学「館務実習生(博物館学芸員課程)」の受入れ

○刊行物

- ・企画展来館者配布用「パンフレット」
- ・れきしのアルバム

○所蔵資料整理業務

古賀市教育委員会又は個人所蔵の古文書について、後世継承のためデジタル化を行い、保存に努める。（「小竹耕地図」をデジタル化予定）

○資料収集整理活動

- ・民俗資料などの寄贈を受けた場合に、資料の性質を見極めて受入れを行う。
- ・昔から地域で行われてきた祭や行事、産業、生活の様子など古賀の歴史に関する事項について、その地域の高齢者などに話を聞く。
- ・個人所蔵の古文書類の確認作業などを行い、郷土史料（資料）として保存できるよう情報収集・整理を行う。

4. 歴史資料館の利用状況

開館日数及び来館者数

月	開館日数	来館者数
4 月	25 日	757 人
5 月	24 日	615 人
6 月	25 日	852 人
7 月	25 日	876 人
8 月	26 日	1,048 人
9 月	25 日	825 人
10 月	25 日	585 人
11 月	25 日	767 人
12 月	23 日	686 人
1 月	22 日	675 人
2 月	23 日	765 人
3 月	20 日	938 人
合計	288 日	9,389 人
月平均		782 人
日平均		33 人

5. 歴史資料館事業概要

(1) 企画展

タイトル：「幕末の古賀～青柳宿を通った人々～」

会 期：平成 30 年 7 月 20 日（金）～8 月 22 日（水）
29 日間

会 場：古賀市立歴史資料館 ギャラリー

来館者数：947 人

関連事業：第 2 回自然史・歴史講座

「幕末の古賀～青柳宿を往来した人々～」

第 5 回自然史・歴史講座

「街中に残る唐津街道を訪ねる

～青柳宿から福岡まで～」

企画展ポスター



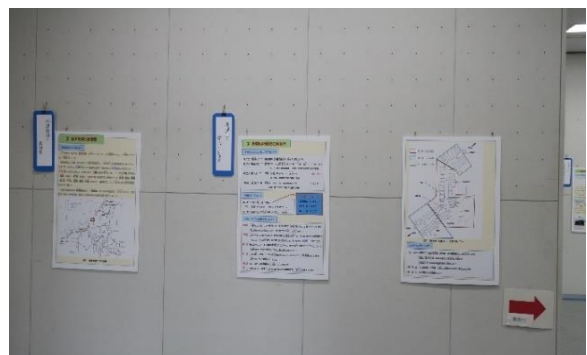
幕末の青柳宿と、青柳宿を通ったであろう人々についてのパネル展を開催した。展示ケースに、市指定文化財である三枚の宿札（青柳宿町茶屋城戸家に残されたもの）と北九州市立自然史・歴史博物館から借用した宿札（「松平美濃守」本陣宿札・複製）、また城戸家から寄贈を受けた着物と和歌の額、『御参勤御道中日記全録』（黒田家収蔵古文書）の写しを展示した。

【パネル内容】

- 1 我が国の街道と宿場の歴史
- 2 唐津街道と青柳宿
- 3 青柳宿の歴史と街並み
- 4 「幕末」という時代と青柳宿
- 5 幕末、青柳宿を往来した人々（1）薩摩中将
- 6 幕末、青柳宿を往来した人々（2）西郷隆盛？
- 7 幕末、青柳宿を往来した人々（3）五卿
- 8 幕末、青柳宿を往来した人々（4）黒田三左衛門
- 9 幕末、青柳宿を往来した人々（5）松平閑叟
- 10 青柳宿の今～唐津街道を歩こう～



会場入口付近



パネル展示の様子



企画展の目玉である3枚の宿札（関札）の展示
「薩摩中将休」「松平閑叟休」「黒田三左衛門宿」



当時の町茶屋であった城戸家から寄贈された、接待時に使用されたと伝わる着物等を展示

【子ども向けコーナー】

子ども達に唐津街道（古賀の青柳宿）を知って興味を持ってもらえるように工夫した。



唐津街道すごろくを楽しむ親子



唐津街道クイズ



来館記念 顔はめパネル

(2) 自然史・歴史講座 全5回 参加者総数 188人

第1回 自然史・歴史講座【講演会】

【第1部】船原古墳最新情報 2018～今明かされる豪華馬具の高度な技術力～

講師 小林啓氏（九州歴史資料館学芸員）

【第2部】「古代馬の模型作成について」

講師 甲斐孝司（古賀市文化課文化財係職員）

実施日 : 平成30年5月13日（日）

13:30～15:30

会場 : 歴史資料館（展示室・中会議室）

参加者数 : 41人



第1回自然史・歴史講座ポスター

【第1部】

保存科学の実態や、出土した鉄くぎから分かること、船原古墳の出土品である「忍冬唐草文心葉形鏡板付轡」「鳳凰文心葉形杏葉」の構造等をくわしく説明された。

船原古墳の出土品の調査に直接携わっておられる方だからこそ聞ける苦労話などを交えた講義は大変好評であった。講演後も多くの質問があり丁寧に答えていただいた。



【第2部】

大阪府薮屋北遺跡で出土した古墳時代の馬の骨格から大阪府立近つ飛鳥博物館が制作した型を基に作った古代馬の復元模型を平成30年3月から歴史資料館にて展示をしている。その模型ができるまでを本市文化財担当者が説明した。実物を会場に搬入し、画像と一緒に説明することで、参加者がより興味がわくような講座となった。



第2回 自然史・歴史講座 【講演会】

テーマ : 「幕末の古賀～青柳宿を往来した人々～」
 実施日 : 平成30年8月18日(土)
 14:00～16:00
 講師 : 守友 隆 氏
 (北九州市立自然史・歴史博物館学芸員)
 会場 : 歴史資料館 中会議室
 参加者数 : 52人
 関連事業 : 企画展
 「幕末の古賀～青柳宿を通った人々～」
 第5回自然史・歴史講座
 「街中に残る唐津街道を訪ねる
 ～青柳宿から福岡まで～」



第2回自然史・歴史講座ポスター

今回の講座は、開催中の企画展とのコラボレーションとして、企画展のパネル展示で取り上げた「幕末の青柳宿を通ったであろう人々」に焦点を当てた講義を依頼した。

企画展展示会場で展示した平成29年1月に古賀市文化財に指定された三枚の宿札の人物について、「薩摩中将」に該当する可能性のある人物は四人いることなどの見解をお話しいただいた。また、伊能忠敬や高木善助等の記録文書からわかる幕末の唐津街道と青柳宿の構成や当時の様子等についてもご講義いただいた。参加者からは特に青柳宿の役割について分かったという感想が多く、街道や宿場を専門に研究されておられる方だからこそ詳しく聞ける話が好評であった。終了後、企画展を観覧される方も多く、参加者が興味を持って講座に参加したことが伺われた。



講演会の様子

第3回 自然史・歴史講座（子ども歴史講座） 【体験型講座】

テーマ：「船原古墳と馬具のヒミツ」（全3回）

実施日：平成30年8月23日（木）24日（金）
（8月24日は午前と午後の2回開催）

会場：歴史資料館 中会議室

参加者数：小学生22人

（保護者8人）

（未就学児1人）



第3回自然史・歴史講座ポスター

国史跡船原古墳について、市内の子どもたちにも身近に感じてもらい郷土を大切にする心を持ってもらうため、「船原古墳と馬具のヒミツ」というテーマで講話と体験活動を実施した。当日はJ:COMの取材があり、子どもたちもインタビューを受けていた。

始めに古賀市で発見された遺物とそこからわかる人々の生活、古墳とはどのようなものか、船原古墳から出土した馬具はなぜ有名なのか、また今年度の講座は「鳳凰文心葉形杏葉」の実物を特別に公開し、装飾の細かさや構造について学んだ。実物を見た後、資料館内にある復元品を見て当時の人の技術の高さを感じることができた。

昨年同様「鳳凰文心葉形杏葉」の実物大のシリコン型に石膏を流し、陽刻されている鳳凰の文様を意識しながら色塗りをしてオリジナル杏葉を作成した。



杏葉シリコン型に石膏を流し込む様子



「鳳凰文心葉形杏葉」の実物を目の前に興味津々な子どもたち



原寸大の船原古墳1号土坑パネル前での学習の様子



思い思いに着色したオリジナル杏葉を持って記念撮影

第4回 自然史・歴史講座

【現地学習／バス利用】

テーマ：「維新の前哨地 太宰府で学ぶ」

実施日：平成30年10月25日（木）

見学先：太宰府市

参加者数：36人

〔行程〕

8:45 受付
 9:00 リーパスプラザこが出発
 10:00 九州国立博物館到着
 10:10 九州国立博物館バックヤード見学(案内ボランティア)
 11:00 九州国立博物館常設展見学(約1時間自由見学)
 12:30 昼食(太宰府天満宮参道など、各自)
 14:00 太宰府天満宮宝物殿見学(約1時間自由見学)
 15:00 延寿王院見学
 15:30 九州国立博物館出発
 16:40 リーパスプラザこが到着・解散

参加者募集

「五卿」が暮らした延寿王院を中心に、西郷隆盛や坂本龍馬など多くの志士たちが集い、情報交換を行った重要な場所である太宰府で、幕末の歴史を学びます。

- 日時：10月25日（木） 9時出発 17時解散（予定）
- 見学先：九州国立博物館、太宰府天満宮宝物殿など
- 対象：市民または市内に通勤・通学する人
- 定員：40人（応募者多数の場合は抽選）
- 費用金：1,000円（参加者負担金500円、九州国立博物館・太宰府天満宮宝物殿入館料500円、当日徴収）
- 申込方法：往復バスに、住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号、「第4回自然史・歴史講座参加希望」と明記して名の宛先へ郵送。1枚の往復バス券で2人まで（1組1通のみ）申し込み可能。※18歳未満は名前の記載がない人は参加できません。
- 申込期限：9月20日（水）必着

「維新の前哨地 太宰府で学ぶ」



【案内・問い合わせ先】

吉賀市立歴史資料館

☎092-944-6214（受付時間：10時～18時）

※休館日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
 〒811-3103 吉賀市中央2-13-1

第4回自然史・歴史講座チラシ

今年度は幕末150年目ということで太宰府天満宮宝物殿の「明治維新150年太宰府幕末展」に時期をあわせ、太宰府天満宮宝物殿及び延寿王院を見学し、唐津街道 青柳宿を通った「五卿」を中心に幕末の歴史について学ぶことを目的とした。また普段見ることができない九州国立博物館のバックヤード見学も行程に組み込んだ。

「九州国立博物館バックヤード見学」は4グループに分かれ、館案内ボランティアの方々に解説していただいた。文化財の保存・活用や、最新の科学技術を駆使した調査・研究、また3Dプリンターで作ったレプリカは学校で学習のために活用していることや、視覚障害を持つ方たちが触れることで文化財を感じてもらうために活用されていること等を知ることができた。

特に参加者の関心が高かったのが、古文書の修復であった。映像の説明と実際に装幀師の方の作業を見学し、古文書の修復と研究を行う専門職の方々の地道な努力を知ることができた。

太宰府天満宮宝物殿では幕末の太宰府の歴史、青柳宿を通った人々である「五卿」三条実美らの和歌や、西郷隆盛、高杉晋作、月形洗蔵ら幕末の志士たちの手紙等貴重な資料が展示されており、参加者は感慨深げに見入っていた。

最後に延寿王院前で、「延寿王院」と「五卿遺蹟碑」について杉村館長が解説をした。



九州国立博物館で案内ボランティアの説明を受ける



幕末展で貴重な資料に見入っている参加者

第5回 自然史・歴史講座

【現地学習／バス利用】

テーマ：「街中に残る唐津街道を訪ねる
～青柳宿から福岡まで～」

実施日：平成31年3月5日（火）

見学先：青柳宿、箱崎宿附近、
福岡市天神地区

ガイド：古賀市史跡案内ボランティア
福岡市観光案内ボランティア

参加者数：37人

【行程】

- 8:45 受付
- 9:05 リーパスプラザこが出発
- 9:20 青柳宿 到着・見学(古賀市史跡案内ボランティア)
- 10:20 青柳宿 出発 出来るだけ旧唐津街道を通りながら箱崎へ移動
- 11:15 宮崎宮 到着・箱崎宿周辺旧跡見学(歴史資料館館長)
- 12:30 昼食(各自)
- 13:30 宮崎宮 出発 出来るだけ旧唐津街道を通りながら天神へ移動
- 14:00 天神中央公園前 到着・天神に残る唐津街道の旧跡見学
(福岡市観光案内ボランティア)
- 16:00 天神中央公園出発
- 16:55 リーパスプラザこが到着・解散

青柳宿では、古賀市史跡案内ボランティア松田会長の案内で、鉤形の道を実際に歩きながら青柳宿の概要、御茶屋、町茶屋、問屋、郡屋の場所等や青柳宿の歴史や機能について解説していただいた。青柳宿から箱崎へ移動中の車内では、唐津街道とはなにかという基本的な歴史から、旧街道の道順、旧街道に残っている風景等（立花山、太閤水、夜泣き観音など）について紹介した。

箱崎では、街中に残っている石碑を中心に①箱崎宿御茶屋跡→②東構口碑→③旧箱崎宿通り（人馬継所・旧御茶屋・制札場・町茶屋・郡屋・西構口の位置を案内）→④郡境石→⑤宮崎八幡宮の順に、徒歩で移動しながら歴史資料館館長の解説で案内した。案内する箇所に印をつけた歴史資料館館長が作成した箱崎宿周辺地図を配布し、現地と地図を照らし合わせながら見学したため、参加者はより深く学ぶことができた様子だった。

福岡市旧跡見学では4グループに分かれ、福岡市観光案内ボランティアの方々と①処刑場跡碑②精錬所跡碑③袖の湊④人馬継所⑤綱敷天神⑥制札場跡⑦枳形門碑⑧水鏡天満宮を回り、それぞれの場所や歴史の解説を聞きながら見学した。現在はない旧唐津街道の案内では今回のように案内してもらわなければ知ることができない場所も解説いただいた。多くの質問があったが、ひとつひとつ丁寧に応じていただき、参加者にとって大変有意義な現地学習となった。

第5回
自然史・歴史
講座

「街中に残る唐津街道を訪ねる
～青柳宿から福岡まで～」

唐津街道は、小倉から福岡を結ぶ唐津に向かう街道で、古賀には御茶屋を構えた青柳宿がありました。
今回は、青柳宿に加えて箱崎宿、博多・福岡の街中に残る唐津街道のあとをたどります。



- 日時：平成31年3月5日（火）8時出発 16時解散（予定）
- 見学先：青柳宿、箱崎宿御茶屋跡、東構口御茶屋跡など
- 対象：市民または市内に通勤・通学する人
- 定員：40人（応募者多数の場合は抽選）
- 費用：500円（お弁当代）※各自お持ちください。
- 申込方法：往復ハガキに、住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号、
「第5回自然史・歴史講座参加希望」と明記して右の
宛先へ郵送。1枚の往復ハガキで2人まで（1組1通のみ）申し込み可能。
※ハガキに名前が記載できない人は参加できません。
- 申込期間：平成31年2月6日（水）～ 締め切り



【販売・問い合わせ先】
古賀市立歴史資料館
〒811-3103 古賀市中央2-13-1
092-944-0214（受付：11時～18時）
※休館日：月曜（祝日の場合は翌日）・第4水曜

第5回 自然史・歴史講座チラシ



古賀市史跡案内ボランティア
松田会長による車内案内



杉村館長の案内による箱
崎宿周辺の見学



福岡市観光案内ボラン
ティアによる見学

(3) 子ども考古学部 全4回 参加者総数 72人

第1回 平成30年10月20日(土)

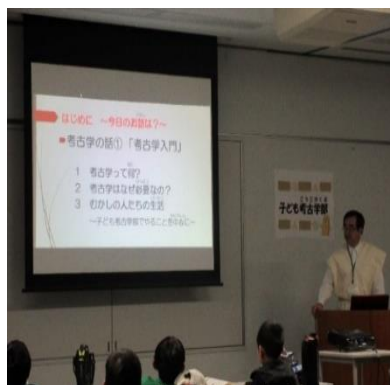
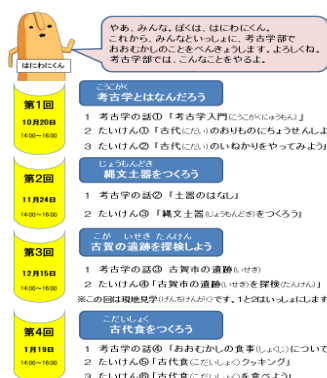
考古学とは何だろう？(活動場所 中会議室)

1 考古学の話：考古学とはなんだろう？

第1回目は「考古学入門」をテーマに杉村館長より説明を行った。

考古学とは何か、なぜ必要なのか、また昔の人々の生活について子ども考古学部で実施する活動を中心にパワーポイントを使用し講義形式で解説した。子どもたちは講義中の問いかけやクイズに積極的に反応し意欲を持って参加していた。

また、講義の中で石器・土器や石鏃、発掘に使う道具の実物を見せ、歴史資料館で育てた古代米も紹介した。その後収蔵庫を見学し、文化財の保存について学んだ。



考古学ノートの1ページ

講義を受ける子どもたち

特別に見学した収蔵庫

2 コースター作り

画用紙でコースター作りを行った。最初に担当の黒田から網代編みの仕方について全体説明を行った。その後、各班に補助職員がついてやり方のコツやコースターの端始末の仕方等を教えた。端始末は難しそうだったが子どもたちは網代編みの構造をしっかりと理解できていた。コースター作りを通して縄文時代から人々が網代編みを使ってものを作っていたことに驚いている子が多かった。コースター作りが終わった人から機織り体験をした。簡易手織り機を一班に一つ配り、張った縦糸に横糸を通して織っていく作業を行い織物の仕組みを学んだ。



3 稲刈り体験

ベランダにて歴史資料館で育てた赤米・黒米の穂刈を体験した。石包丁（模造品）で一人ずつ穂を選んで一人一穂ずつ刈った。石包丁が切れづらく力のいる作業だったが、杉村館長からやり方を教わり上手くできていた。興味を持った保護者の方も体験に参加していた。



4 宿題

古代文様が描かれたプリントと貫頭衣（無地）を配布し、貫頭衣に好きな古代文様を描いて作成してくるという宿題を出した。第2回考古学部からのユニフォームとして使用する。

第2回 平成30年11月24日（土）

縄文土器をつくろう（活動場所 交流館工芸室102）

1 考古学の話「土器の話」



「土器の話」をテーマに杉村館長より説明を行った。「やきもの」の違いや、縄文土器とその文様について、パワーポイントを使用し講義形式で解説した。陶磁器の違いや縄文土器の文様の付け方を説明する際に、理解が深まるように、実物または材料（原体）を直接提示しながら説明した。

2 体験活動「土器を作ろう」



昨年同様古賀市陶芸同好会代表の香川氏に講師を依頼し縄文土器を作成した。グループに一人補助職員を配置したためスムーズに進むことができた。

昨年は「輪積み法」で作成したが、今回は子ども達が失敗しにくく大きさもある程度均等になるという理由から、「手づくね法」を用いた。

子ども達にとって成形するのは難しいようであったが、原体を使ってそれぞれ文様を入れオリジナルの縄文土器をつくることができた。

作成した縄文土器は11月29日に素焼き、12月19日に本焼きし、第4回考古学部で子ども達に渡す計画とした。



第3回 平成30年12月15日(土)

古賀の遺跡を探索しよう

(活動場所 中会議室・船原古墳・グリーンパーク・みあけ史跡公園)

1 考古学の話「船原古墳と古賀市の重要遺跡」



現地見学参加者

・考古学部員	16人
・保護者	8人
・職員	3人
合計	27人

最初に、杉村館長から古賀市内にある遺跡について現地学習で行く「船原古墳」「馬渡・束ヶ浦遺跡」「鹿部田渕遺跡」のそれぞれの特長を解説し、予備知識をもたせた。

2 体験活動「現地見学：船原古墳→馬渡・束ヶ浦遺跡→鹿部田渕遺跡」

(1) 船原古墳の現地見学



文化財係の井係長に遺跡案内を依頼した。船原古墳とはどんな古墳なのか、なぜ珍しいのか、石室の構造、古墳の長さ・形、土坑と出土したものについて、実際に古墳を観察しながらの解説に、部員たちは熱心にメモを取りながら、興味津々な様子で話を聞いていた。

(2) 馬渡・束ヶ浦遺跡(グリーンパーク内)に残る、古墳の見学



グリーンパークは、昔はみかん山であり、甕棺が出土した場所と甕棺から出土した青銅器について、上から指し示しながら解説した。また、未調査の古墳について、円墳を2か所案内した。部員たちは普段遊んでいる場所が遺跡だったことや古墳があることに驚いており、質問も多く出ていた。

(3) 鹿部田渕遺跡(現在みあけ史跡公園)



鹿部田渕遺跡は、古賀市ではじめて公園化された遺跡であることや、建てられた柱は当時の様子を再現するために、発掘された大型建物群の柱の跡を復元していることをお話いただいた。また、北側の小さく復元している柱は、稲を蓄蔵する倉庫ではないかということも知ることができた。

文化財係に史跡案内を依頼したことで、実際に調査に携わっている専門家の話を子どもたちに聞かせる機会ができた。

第4回 平成31年1月19日(土)

古代食を作ろう (活動場所 リーパスプラザこが 調理室・調理室前テラス)

1 考古学の話「昔の人の食事」



縄文時代・弥生時代の人々の食事について、杉村館長が、どんなものを食べていたのか、パワーポイントを使用して解説した。

また縄文時代の人々が食べていたどんぐりについて、各班に、イチイガシ・マテバシイ・スダジイ・クヌギを人数分ずつ配り、どんぐりの形や模様を観察した。

2 古代体験活動

① 古代食クッキング(どんぐりクッキー)



各班の班長にどんぐり粉・小麦粉・砂糖・バター・山芋を混ぜてもらい、どんぐりクッキーの生地を作った。それを各班に持ち帰って職員が人数分に分け、子ども達が1人分をさらに5等分する作業を行った。5等分した生地を天板に並べ、均等な厚さになるように押しつぶした。子ども達はスムーズにできていた。

【材 料】

古代風スープ		どんぐりクッキー		赤米おにぎり	
材料	分量	材料	分量	材料	分量
大根、大根の葉	1本	どんぐり粉	170g	白米	4合
人参	2本	小麦粉	150g	赤米	1/2カップ
鶏肉(むね肉)	1パック	バター	72g		
昆布	2枚	山芋	70g		
しめじ	1房				
塩					

※子ども達のアレルギーについては保護者に確認済

② 古代体験(火おこし・どんぐりのからむき)

火おこし体験



どんぐりのからむき体験



クッキーを焼いている間に、どんぐりのからむきや糰子作り体験と火起こし体験を行った。実際に体験したことで、先人の知恵や大変さを知った。

③ 古代食の試食



古代風スープ・赤米おにぎり・どんぐりクッキーを試食した。

特にどんぐりクッキーと今年度資料館で育てた赤米を使用した赤米おにぎりは好評であった。

3 子ども考古学部修了式



土器づくりの講師 香川氏



修了証とともに「どんぐりペンダント」
を首にかけてもらう

修了式の前に第2回で作成した縄文土器の完成を披露し、ご指導いただいた古賀市陶芸同好会の香川氏から一言いただいた。焼き上がりを見てその出来栄えに子ども達はとても喜んでいた。

修了式では全員に「修了証」と「どんぐりペンダント（館長の奥様製作）」を渡した。感想は各班の班長に発表してもらい、活動を通して古賀の歴史のことをしっかり学んだことがわかる内容だった。最後に部員全員で記念撮影を行った。



全員で記念撮影

(4) ナイトミュージアム &ライブラリー

実施日 : 平成31年2月2日(土)
18:30~19:30
会場 : 歴史資料館(展示室・中会議室)
図書館
参加者数 : 50人

子どもを対象に「歴史資料館」「図書館」を身近に感じてもらうもっと来館してもらうことを目的に企画。

イタズラおばけから館を守るために、あらゆるミッションをこなしながらグループで力をあわせて暗闇の館内を巡る脱出ゲームとなっている。

夜に開催することでワクワクドキドキしながら挑戦していた。



【オープニング】



真っ暗な室内でオープニング映像をながし、気分を盛り上げた。この企画のキャラクターである「ふなばーる王子」と館をのっとる「ハニーワ」というおばけが画面に登場した。(詳しい内容は秘密)

続いて力丸文化課課長扮する呪われた人が「館を取り返したいならミッションに挑戦し、馬具カードを集めてこい」と挑発し去っていった。

のっとりおばけ

ハニーワ



【受付】



職員は呪われた人という設定のため、全員黒いマントを着用し、怖さを醸し出して接した。受付ではグループごとに「ミッションカード」を配布した。1班5人グループで、1~5班は図書館、6~10班は歴史資料館でミッションをこなすように案内した。(入替制)

【歴史資料館ミッション】



歴史資料館内では暗闇の中、懐中電灯を照らしながら班長がメンバーを率いてミッションをこなしていた。あまりにも怖くて泣きだしている子もいたが、励ましあいながら進んでいた。ミッションは館内の資料をヒントに解くものや、隠しているものを探してくるものなどの他、低学年向けに呪われた黒いマントの人とのじゃんけんゲーム等を行った。チームみんなが真剣な様子で協力し合ってクイズを解き、ミッションを達成して「馬具カード」を受け取った。

【図書館ミッション】



図書館ではミッションカードで指定された4冊の絵本を探し出し、絵本の頭文字からの暗号を読み解いていった。メンバー同士「〇〇じゃないか？」と相談しながらミッションをこなし、正解すると黒いマントの呪われた人から「馬具カード」をもらっていた。

【エンディング】

馬具カードをそろえた班から順番にエンディング映像をみた。そこでは集めた馬具カードを使ってふなばる王子がハニーワを倒して館を取り戻すという内容で、子どもたちも館と一緒に守ったという達成感にあふれた様子だった。

帰り際には記念撮影や船原古墳のおみやげをもらい、楽し気に帰っていた。



(5) 施設見学

歴史資料館では随時、申込があれば教科学習などの施設見学を受け入れている。館内は小学校3年生の学習内容「昔の暮らし」や古賀市の宝「船原古墳」等を、子どもたちにも分かりやすいような展示を心がけて工夫をし、子どもたちの学びに力を入れている。



館内ルールの説明の様子

始めに、館内でのルールを説明し、公共施設でのマナーも教えている

- ① 走らない
- ② 中で食べたり飲んだりしない
- ③ 大声でさわがない
- ④ さわってよいもの以外の展示物にはさわらない
- ⑤ ごみを落とさない



青柳宿の説明の様子

事前に学校と、学習のねらいや内容、スケジュール等の打ち合わせをしておき、それにそって見学を進めている。

大人数の場合は3班程度に分け、入替しながらみんなに説明が行き届くように心がけている。日頃触ることができない資料を特別に触ることもできるようにしている。

この事業がきっかけで再度来館する子どもや、ご家族友人を連れて学習したことを説明している光景もみられ、古賀の歴史の普及に繋がっている。



船原古墳の説明の様子

(6) 官学連携

古賀市立歴史資料館
～夏は歴史を学ぼう!～

なつやすみれきし体験パスポート

なつやすみれきし体験パスポートを開催します!
小中学生のみならず、なつやすみは歴史資料館
でさまざまな歴史体験をしてみませんか?
歴史クイズやパズル、昔の遊びなど、好きな
テーマを選んで体験をしてスタンプを集めよう。
スタンプを全部集めると小さなプレゼントが
もらえるよ!

さらに今年は、なんとなつやすみ限定で歴史資料館
に Pepper を置きます。クイズやカルタをして、
Pepper と一緒に古賀の歴史について学ぶ
ことができますよ。

この夏、ぜひ歴史資料館にきてね!

開催期間:【なつやすみれきし体験パスポート】7月20日(金)～8月26日(日)
※月曜、8月23日(木)休館
入場無料、申し込み不要
場所:リーバスプラザこが 歴史資料館

問い合わせ:歴史資料館 ☎944-6214
問い合わせ時間 10:00～17:30
(月曜、第4木曜休館、月曜が祝日の場合は翌火曜休館)

「ソフトバンクロボティクスの Pepper を活用し、古賀市と九州産業大学が共同で実施しています」

れきし体験パスポートチラシ

古賀市立歴史資料館・古賀市立図書館
古賀の郷土カルタ大会&ことちゃんカルタ大会
ベッパ－
Pepperと、カルタで遊ぼう

日時 9/15(土)
ことちゃん
カルタ大会 11:30～15:30
古賀の郷土
カルタ大会

歴史資料館 ギャラリー

※ベッパ－は障害者福祉のため、途中で休憩(停止)することがあります

9月15日(土)、第2回カルタ大会を開催します!図書館の「こ
とちゃんカルタ」、歴史資料館の「古賀の郷土カルタ」を使いベ
ッパ－と遊びます。リーバスプラザこが歴史資料館ギャラリー
(市立図書館二階)で、随時行います。
ぜひお越しください!

問い合わせ
【古賀市立図書館】
〒811-3103 古賀市中央二丁目 13-1 TEL 092-942-2561
【古賀市立歴史資料館】
〒811-3103 古賀市中央二丁目 13-1 TEL 092-944-6214

参加してくれた子には
プレゼントもあるよ!

この事業はソフトバンクロボティクスの Pepper を活用し、古賀市と九州産業大学が共同で実施しています

カルタ大会チラシ

歴史資料館を多くの人に知ってもらいたい、また楽しく古賀の歴史に触れて郷土に愛着が
持てるきっかけづくりをしたいという思いから、今年度初めて図書館と一緒に、九州産業大
学と官学連携し「感情認識人型ロボット Pepper」を利用した夏休みのイベントを開催した。
理工学部の大学生に館内案内や図書館・歴史資料館クイズなどのシステム構築をお願いした。
大学生は Pepper のイントネーション訂正などに苦慮していたが改良を重ね「夏休みれきし体
験パスポート」と「カルタ大会」で活躍した。カルタ大会では「ことちゃんカルタ」と「古賀
の郷土カルタ」を Pepper が読み手となり子どもたちが札を取る方法で行った。子どもたちは
Pepper が読む声を注意して聞きながら真剣にカルタを探し、札が取れるとからだ全体で喜んでい
た。古賀の郷土カルタは「楽しく古賀の歴史を学べる」と保護者にも好評であった。夏休みれき
しパスポートは昨年と比較して 1.75 倍の参加があり一定の効果があった。



Pepper とカルタ大会を楽しむ子どもたち

歴史資料館報告書(平成30年度事業)

2019(令和元)年 7月発行
〒811-3103 福岡県古賀市中央二丁目 13 番 1 号

古賀市立歴史資料館

TEL 092(944)6214
FAX 092(944)6215